

南箕輪村大芝高原森林づくり協議会 4 回

会 議 名 称		令和 6 年度 南箕輪村大芝高原森林づくり協議会（第 4 回）
開 催 日 時		令和 6 年 7 月 11 日（木） 開会：午後 6 時 閉会：午後 7 時 45 分
開 催 場 所		南箕輪村 森の学び舎
会 長 氏 名		岡野 哲郎
会 議 事 項	次 第 1. 開 会 2. あいさつ 3. 第 4 回協議会について ・ 第 4 回協議会の進め方と計画（案）に対する意見集約について ・ 配布資料の修正箇所説明 4. 協議事項 ・ 大芝高原森林づくり実施計画（案）及び資料・解説編について 5. その他 ・ 計画（案）等に対する意見提出期限 ： 7 月 25 日（木） 6. 閉会	会議結果
会 議 経 過		別添「協議会の経過要領及び発言者の発言趣旨」のとおり
会 議 資 料		・ 大芝高原森林づくり実施計画（案） ・ 大芝高原森林づくり実施計画 森づくり解説・資料編

(会議の経過要領及び発言者の発言趣旨)

発 言 者	発言内容 ・ 意見
会長	【１．開会】 18：00 事務局 開会 【２．あいさつ】 皆さんこんばんは。 今日いよいよ実施計画の案が出てまいりました。そろそろこの委員会の佳境を迎えるという段階でございます。 今日はこの案につきまして、皆さんにご検討いただくとっかかりにということになります。 7 月 25 日が提出期限で意見を聴取するということでございますので、今日はどういう方針で、どのように書かれているのかということをご理解いただきたいと思います。 事務局からお話があるかと思いますが示された方針に沿って毎年度、事業計画を立て、PDCAサイクルの中でちゃんと回しながら毎年進捗管理をし、翌年の事業計画にまた落とし込んでいくというようなことを行っていくこれは土台の部分だということをお含みいただきながら、今日はご意見、ご質問をいただけたらありがたいと思っています。 これはということがあったら発言いただきたいと思います。
	【３．第４回協議会について】 ・第４回協議会の進め方と計画（案）に対する意見集約について ○ 事務局 説明 （省略） ・配布資料の修正箇所説明 ○ 林業コンサルタント 説明 （省略）
質問・意見 回答	【４．協議事項】 ・大芝高原森林づくり実施計画（案）及び資料・解説編について (前文と第１章) ○ 事務局 説明 （省略） 前文の２のところで、１の末尾にご理解くださいと書いてあるのは理解してもらえないが、２の大きく景観が変化し、その後ゆっくりした形で変化していくということを理解させるのはこの計画の周知を通じて理解してもらうことなので、その前文に理解しろというふうに書くというのは変な感じがしています。 どういう変化になるのかっていうのを解説しますとした方がいい。 この部分はそのような表現に変えるということで皆さんよろしいですか。 次のバージョンで修正してください。 (第２章) ○ 林業コンサルタント 説明 （省略） (質問・意見なし)

(会議の経過要領及び発言者の発言趣旨)

質問・意見	(第3章) ○ 林業コンサルタント 説明 (省略) 一つだけ回答だと円グラフにして構成比を示すのはいいですけど、複数回答だとパーセントの意味が違ってきます。どんな調査でしたか。
回答	こちらは単独回答だとは思いますが確認します。
質問・意見	(第4章) ○ 事務局 説明 (省略) 二つあります。 21 ページのワンポイントですが②と③で同じ文言が入っています。同じでもいいのですが、何か違う文言が入るのであれば違うものが入るのかと思います。 ③の学校への木材提供ですが、実施主体が観光森林課になっているが、教育委員会が含まれていた方がいい。
回答	二点目はですね、25 ページの「おおしば森部」ですが、集団をマネジメントしていくのは生涯学習系のところが関わった方がハンドリングをしやすい。 観光森林課でやることとなった経緯をちょっと教えてください。 21 ページのワンポイントは、もう一度確認します。 また、③学校への木材提供、これにつきましては関係各課と調整をとりたいと思います。 「おおしば森部」は今調整を観光森林課で担っていることから記載させていただいておりますが、軌道に乗って動き始めていけば役場での役割も変わってくるかと思えますので、その中でどこが担当するのが動きやすいのかというところを含めて検討し進めていきたいと思います。
質問・意見	「森部」についていろんな方が連携してやっていくということですが、得てしてその中で利害がバッティングすることがありますので、そういった時にどう対応していくのか調整していくこともある程度想定していったほうが良い。
質問・意見	(第5章) ○ 林業コンサルタント 説明 (省略) 目標林型の 30 ページで車道沿いとキャンプ場のところで植え替える木が高木性樹種。アスレチックは低木でマレットは中木って書いてあります。 その、車道沿いとキャンプ場を高木性樹種にするのはなぜですか。
回答	早く日陰を作ってあげないとキャンプのサイトとして適正ではないということで、高木性の樹種を導入しました。車道沿いも修景的な形になり、中高木を植栽していくのがベストじゃないかということです。
質問・意見	32 ページの枠の中の森林環境の区域ですが、評価するにあたり区画に占めるアカマツ枯損木の本数の分布割合というものは面積的なものですか、それとも本数ですか。
回答	アカマツの面的なもの。ドローンで解析し優先する面積で判断しております。

(会議の経過要領及び発言者の発言趣旨)

質問・意見	ドローンですと本数も分かりますよね。
回答	ドローンで本数まで解析すると時間がかかる。また、今回はレーザーを積んでおらず正確な位置情報が得られない可能性があり面積で拾わせていただいた。
質問・意見	特にみんなの森は被害木が多発している傾向にある。 本数が問題になると思うのですが本数と被害の相関関係は出せないのですか。
回答	今回はドローンで調査しており、どうしても本数に辿り着くのはむずかしい。
回答	今、全体の中で優先順位はどこが高いかという相対的な順位関係を出すために使っており、面積で見てもそれほど大きな違いは出てこないのではないかと。
質問・意見	30 ページの図の 5-9 の下の米印の画伐。例えばどのような時に画伐をするのですか。
回答	森林・林業ゾーンは生育のいいヒノキがあり長伐期で 90 年生まで育て全部伐るのでなく区画を決めて切って更新させていくということで持続的な森林が継続する画伐区を儲けた方が村の資産としても有効ではないかということでこういう目標とした。 (第 6 章) ○ 事務局 説明 (省略)
質問・意見	37 ページの文章真ん中辺に P D C A サイクルというのがある。これはプラン・ドゥ・チェック・アクトになっているが、他の行ではアクションとなっており、アクトとアクションは何で変えたのか。
回答	アクションなのですが、このプラン、ドゥ、チェック、アクトの行だけ略した表記になっているためアクションという形で統一したい。
質問・意見	これが非常に肝になってくるということは間違いないが、これをもう少し踏み込みたいので検討をよろしくお願いいたします。
質問・意見	財源をどうするのかっていうところが課題になってこようかと思う。 予算財源確保はどうされるのか、計画に書くことなのか、書かなくても確保されるものなのかというのを教えてください。
回答	財源ですが、森林環境譲与税の関係は見える範囲では書けますが、長期の財源になると難しい。補助金も検討していきたいと思います。
質問・意見	そうですね、そんなはっきりしたものではないにしても、方針ぐらいはあった方がいいかも知れません。 (森づくり解説・資料編) ○ 林業コンサルタント (解説・資料編) 説明 (省略) ○ 事務局 (協議会の検討経緯) 説明 (省略)

(会議の経過要領及び発言者の発言趣旨)

質問・意見	サクラの植栽間隔の8 mはどうかと思う。 コヒガンザクラを植えるなら8 mで構わないが、それ以外のサクラとなると8 mはきついのので8 m位あけるといい方がいいのかも。 その辺もう一度ご確認ください。
質問・意見	17 ページの密度管理の指標、相対幹距比 (Sr) を使うのは一般的なことなのか。
回答	林業的には、非常によく使う指標の一つ。 人工林をどのくらい間伐するかという時にこの Sr を使います。
回答	この指標はスマートフォンの電卓でも計算できる指標。 簡単に言いますと1万を1ヘクタールあたりの本数で割り平方根を解けば、木の間隔が出ます。これが分かればどなたでも計算できるということで参考に記載した。
質問・意見	14 ページのサワラですが、ヒノキの寿命は450年から1000年と言っていましたが、サワラは太くなると折れやすいというか、柔らかいのでどれくらいが伐期なのか。
回答	寿命と伐期は違う。 伐期はどのくらいで伐ると一番収益が上がるかというのを伐期と言う。 サワラの場合条件が厳しいところにある樹種なので、天然だとどうしても寿命が短くなるが、人工林で比較した例はない。 多分ヒノキの方が長いと思いますが判断はできない。
回答	サワラの寿命はほぼこの文献にもないが唯一800年不明という文献が出てきます。 ヒノキが1000年以上不明ですのでまあ似たりよったりということ。 林業的寿命というのと伐期(寿命)はやはり違う。伐期は林業的に日本では45年、長伐期で90年ということとなっている。 (全体を通して)
質問・意見	森の中がどうなっているかだけでなく、よく歩かれている所からの風景はどう変わるのか。写真もそういう方向の写真を増やして欲しい。 ここで書いていることと実際に歩いてみる風景を比べ、こんなに木を伐るにんだというイメージがこの図だと分かりづらい。 実際の現場と全然違うという印象がそこで発生するのではないかなと思った。 資料編の20ページから21ページの写真はすごくいいなと思っているが、もう少し上の方まで写真があるとこういう森になるというイメージが沸く。 資料としての図と現場でギャップをできるだけ少なくできるのであれば替えた方がいい。
回答	今回はちょっと画一的な資料になっており、写真で補えるようなところがあればもう1回確認し、利用者、村民の皆さん方に理解していただけるような形に構成を変えていきたい。
質問・意見	問題は松枯れが非常に早く進んでいること。 Aの森をやっているうちにみんなの森は真っ赤になるかなと思います。 松枯れの対応をの項目を一つ設け明記したらどうでしょうか。

(会議の経過要領及び発言者の発言趣旨)

回答	大芝高原は林業的な伐採ができる区域が極めて少ないため特殊伐採を伴うことから、通常の伐採費用の1.5倍から2倍以上かかってくるため全部伐るのには厳しいかなと思います。 アカマツの伐採について、大きく章を起こして書くというのもなかなか難しいかなと思います。
質問・意見	みんなの森が壊滅寸前のところまで来ているものですからみんなで知恵を絞って考えていただきたいと思います。
質問・意見	資料編の13ページの図4-10、ここだけ4が入っている。
回答	修正します。
質問・意見	本編の28ページのそれぞれのゾーンごとのネーミングが非常にイメージしやすい。 ただ、「安全・爽快な森」と「彩り森」のところには「安全」っていうのがこう入っているのですが、これは他の所にも基本として必要なことであるのにあえてこの二つだけに「安全」というのは違和感があり「爽快の森」だけではいけないのかと思う。 あと「多様性のある森林」は「多様性の森」でもいいのではないか。 キャッチコピー的には住民に一番分かりやすく伝えられる所と思ったので意見しました。
回答	検討します。
質問・意見	対策を取っている間にアカマツが枯れるのではないかという話ですが資料編の36ページの表のところに伐採本数がある。6年間やればこのくらいまでは減りますよというグラフみたいなのがあると安心できるのかなという感じがします。
回答	難しいですがシミュレーションしてみることは必要かと思います。
質問・意見	6年で何割伐るのかわからない。マツ枯れは関係なしでどんな感じでアカマツ減るのかというグラフがあれば理解しやすいのかなと思う。
回答	資料を確認して検討します。 (事前質問回答)
質問・意見	子供・若者向けの分かりやすい資料を作成する予定はありますか。
回答	子供若者向けの分かりやすい資料を作るという予定はございませんが、概要版を作成して村民の方に周知する。
質問・意見	説明会や意見交換会などの開催を予定していますか。
回答	内容が固まってくれば住民向けの説明会を場所で開催したいと考えている。また、意見交換の機会も検討していきます。

(会議の経過要領及び発言者の発言趣旨)

質問・意見	15 ページの地球温暖化対策のグラフで単位面積当たりのＣＯ２吸収量と書いてあるが、これがちょっとよく分からない。 木が大きくなればＣＯ２の吸収量は上がるのかなという気もするが、全体のＣＯ２吸収量はこういう形になるという解釈でよろしいのでしょうか。
回答	吸収したもので木が太くなっていくのは蓄積量・固定量と言います。 吸収量はあくまでも光合成をした段階で二酸化炭素を使う量になりますので固定量と吸収量は別物になります。
質問・意見	吸収するのは葉っぱが増えれば吸収量は増えるのではないですか。
回答	二酸化炭素の吸収量は葉っぱの量ではなく成長、木の太くなっていくスピードで計算しています。 今の制度では、木が太くなっていくのは固定量、吸収量はあくまで吸収していく時のスピードを指しております。
	【５．その他】 ・計画（案）等に対する意見提出期限：７月２５日（木） ○ 事務局 説明 （省略） ・協力隊杉本よりお知らせ ○ 事務局 説明 （省略） 【６．閉会】 ○１９：４５ 副会長 閉会